建築学講座の研究活動報告の書き方に関する研究
（副題／本題ともゴチ12ptで書く）

TC98765　中部　太郎
（建築材料系）

1. はじめに

本文は，中部大学大学院工学研究科建設工学専攻（建築学講座）の概要書や中間報告書など報告書の書式について述べたものである。

2. 原稿の書き方

2.1 原稿の大きさ

A4用紙を使用する。紙面の上下左右ともに2cmのマージンをあける。修論概要書は6頁、中間報告は4頁、その他は2頁とする。後に，ヘッダおよびフッタを編集側で追記する。表題は1段組とし，本文は2段組とする。本文と表題は2行あける。

表-1　原稿のマージンの寸法

右	左	上	下
20mm	20mm	20mm	20mm

2.2 文字のサイズ

本文は，明朝10ポイント（あるいはそれに近いもの。以下，サイズ指定は指定数値に近いものでよい）とし，章節のタイトルはゴシックを用いる。

表題はゴシック体12ポイントとし，右脇に，学籍番号，氏名，所属系列（建築構造系や建築計画系など）をゴシック10ポイントで例のように記入する。

2.3 章節のタイトル

章の前は1行あけるが，節の前は前段に続いて行をあけない。文字の区切りは，「、。」あるいは「，。」のいずれか一方を使用すること。

3. 図表の書き方

3.1 数式

数式は，下記例題のように行頭より3字あけて記載する。数式の上下は1行あけ，数式の行末には，式番号（通し番号）を記入する。本文中では，式(1)，式(2)のように記入する。

$$\Delta P = \frac{8}{3R}\frac{\left(\tau_{yi}\eta_j - \tau_{yj}\eta_i\right)}{\left(\eta_j - \eta_i\right)} \qquad (1)$$

3.2 図面

図面のタイトルはゴシック9ポイントを用いて，図面の下に通し番号付きで記載する。表の周囲は1行あるいは2字あける。

3.3 表

表のタイトルはゴシック9ポイントを用いて，表の上に通し番号付きで記載する。表の周囲は1行あるいは2字あける。

3.4 写真

写真のタイトルはゴシック9ポイントを用いて，写真の下に通し番号付きで記載する。写真の周囲は1行あるいは2字あける。原稿は，白黒コピー機で印刷製本されることを念頭におき，ラスタライズなど，見やすい工夫をしておくこと。

3.5 図表中の文字や線

図表中の文字や線の寸法は特に指定しないが，後に白黒コピーで潰れない程度の寸法とすること。

4. その他

4.1 参考文献

参考文献は，本文末尾に明朝9ポイントで番号を付して記載する。並び方などは下記の例題を参照する。本文中では[1)]あるいは[1,2)]あるいは[1-3)]のように引用していることを示す。

4.2 査読員

本文1頁目の左コラム下側に横線を引き，その下に主査および副査に氏名と役職を記載する。ただし副査は修士論文概要書の時のみ記載すればよい。

【参考文献】

1)K.Watanabe, S.Kuroiwa, H.Ono and Y.Tanigawa: Evaluation of pumpability of high-strength high-fluidity concrete, Concrete Under Severe Conditions - Environment and Loading-, Proc. of the Third International Conference on Concrete, Vol.2, pp.1642-1649, June, 2001

2)渡辺健治・小野博宣：フレッシュモルタルのレオロジー性質に及ぼす骨材相の影響, コンクリート工学年次論文梗概集, Vol.24, No.1, pp.837-842, 2002.6

3)Tattersall,G.H.: The Rheology of Fresh Concrete, Pitman Advanced Publishing Program, 356pp., 1983.

主査：日本大次郎　教授
副査：東海小五郎　教授
副査：松本民雄　　准教授